

日々初心

市長コラム・日々初心
市長 ● 穂積 志(もとむ)



佐竹史料館前にある歌人・若山牧水の父子歌碑。牧水の肖像写真も刻み込まれています

鷗(う)めじろ山雀(やまがらす)つばめなきしきり
さくらはははまだひらかざるなり

旅(りょ)人(にん) 牧(ま)水(すい)
旅(りょ)さな秋(あ)田(だ)にやどりし父(ちち)のうた
ふかき糸(いと)にしに今日(けふ)きざまれぬ

若山牧水と秋田く日本ほろよい学会

汗を拭き拭き歩いてきた夏も過ぎ、いつの間にか田んぼの稲穂は黄金色に色づき、秋風に吹かれながら静かに頭を垂れていました。

今年の中秋の名月は先月の15日でしたが、澄んだ空にぼっかり浮かんだ月は、その輝きといい、輪郭といい、本当に見事なものでした。古来、人がこの月を仰ぐとき、なぜ自然に背筋が伸び、手を合わせたような気がします。

お月様のせいにしていささか心が痛みますが、秋の夜長、月の光を愛でながらゆつくりと一献傾けるのも風流で、秋田に暮らす幸せを感じるときでもあります。

そんな折、「第14回日本ほろよい学会秋田大会」に参加する機会がありました。この学会は平成11年秋田市制110周年記念に、酒をこよなく愛し秋田との縁も深かった歌人・若山牧水にちなんで「和歌と酒のフェスティバル」が開催されたのを機に、当時の石川錬治郎市長

や、歌人の俵万智さんの師匠としても知られる早稲田大学の佐佐木幸綱教授(現在は名誉教授)らが中心になって設立したものです。ズバリ、テーマは「酒と文化」。

先日の大会では、宮崎の若山牧水記念文学館館長の伊藤一彦先生や牧水のお孫さんにあたる静岡県沼津市若山牧水記念館館長の榎本篁子先生の講演があり、佐佐木幸綱先生も主催者としてご挨拶されました。今回は、大正5年に牧水が初めて来秋してから100年目ということもあり、旅・酒・鳥を詠んだ短歌を募集し、大会でその表彰式も行いました。佐佐木幸綱学会会長賞をご紹介します。

秋田市の篠田和香子さんの作品

江戸切子の青きグラスにさをさと
注げば酒の自づから冷ゆ

深くキリッとした青と清冽な日本酒、そこに注がれるだけで冷えていくように感じる酒、想像すると早くグラスが欲しくなります。

ちなみに、平成11年に開かれた第1回大会でも、全国から日本酒にまつわる短歌募集を行っており、このときの大賞受賞作品は、
**透き通るガラスのちよこで日本酒を
飲みあかしたら朝焼みよう**

ガラスと日本酒の透明感、飲みあかしたのはよく冷えた吟醸酒でしょうか。そして明けていく空に朝焼けの鮮やかなオレンジ色、まるで絵を見ているようです。これは青森のかたの作品でした。

千秋公園の松下門跡付近には、かつての料亭をリノベーションした「会える秋田美人、あきた舞妓の『松下』」というお店があり、日本酒の飲み比べなどもできるそうです。さらに坂を登った佐竹史料館前には、若山牧水来秋時の歌と、時を隔てて秋田を訪れたご子息の旅人さんの詠んだ歌を刻んだ父子歌碑が立っています。公園散策の際はぜひ鑑賞してみてください。そこで一首、もまた一興ですね。

リノベーション=建物などに手を加え、より良く修復、再生すること

◆秋田市ホームページで市長の動向や記者会見の内容などをお伝えしています。
「市長ほっとコーナー」<http://www.city.akita.akita.jp/city/mayor/>

秋田市版ネウボラ

妊娠 出産 子育て

相談窓口が一つに

「ネウボラ」とはフィンランドの育児支援制度で、「相談する場」という意味です。市ではフィンランドの取り組みを参考に、安心して妊娠・出産・子育てができる環境づくりを進めていきます。

子ども健康課では、「秋田市版ネウボラ」を10月に開設しました。母子保健コーディネーター(助産師)が中心となり、来所、電話、訪問などにより相談に応じていきます。お気軽にご連絡ください。

秋田市版ネウボラ(市保健所2階子ども健康課内) ☎(883)1175

◆妊娠届も「秋田市版ネウボラ」へ

「秋田市版ネウボラ」では妊娠の届け出をした際に面接を行い、疑問や質問、困りごとがないかをお伺いするほか、妊娠・出産に向けたさまざまな情報提供やサービスを介を行っています。

なお、市民課、各市民サービス



イメージ図

センターなどで妊娠の届け出をしたかたは、その際配布された母子健康手帳セットをお持ちになり、秋田市版ネウボラへお越しただければ、同様に相談などに応じています(電話での相談も可)。面接は20分程度。予約不要です。

◆妊娠のお祝いに「プチギフト」

「ネウボラ」で妊娠届を提出し、面接したかたには、妊娠のお祝いの「プチギフト」を差し上げていきます。また、左記の妊婦さんにも、後日「ネウボラ」に面接にお越しただければ、お渡ししますので、お気軽にどうぞ。

- ▼ 10月以降にネウボラ以外で妊娠の届け出をしたかた
- ▼ 転入してきたかた
- ▼ 4月以降に妊娠の届け出をし、まだ面接を行っていないかた

市政トピックス

協働の取り組みを支援



右から一般社団法人フードバンクあきたの林 多実 代表理事と穂積市長、秋田市の絆づくりキャラクターのテツテ

8月31日、市と一般社団法人フードバンクあきたが、「秋田市協働サポート交付金事業の実施にかかる協定・締結式を行いました。

これは、市民活動団体の提案をもとに、市とその団体が協働で行うモデル事業を支援するもので、今回応募のあった各団体がプレゼンテーションなどを実施した結果、「フードバンクが取組む子どもへの貧困問題サポート事業」が選ばれたものです。

詳しくは、中央市民サービスセンターへお問い合わせください。

☎(888)5642

事業概要…企業・個人から食品の寄付を募る「フードバンク」を活用し、子どもが安心して過ごせる場となる「子ども食堂」を開催する。また、不要となった学校制服の寄付を募り、困っているかたへ提供し、再活用する仕組みをつくる

平和の願いを込めて



最優秀賞の草薙日和さん(左)と菅原葵梨さん(8月29日の表彰式で)

小・中学生から募集した「平和へのメッセージ」に218点の応募があり、審査の結果、次のみなさんが入賞しました。

最優秀賞作品は、市ホームページでご覧になれます。

福祉総務課地域福祉推進室

☎(888)5661

* ()内は学校名。敬称略。

小学生の部

最優秀賞▶草薙日和

(明德)

優秀賞▶佐藤悠介(土崎南)

佳作▶中塩和幸(飯島)、北島愛子

(明德)、本多愛・渡部杏珠(港北)、

植木優羽・福本理仁・長岐健生(広

面)、石井佐和(日新)

中学生の部

最優秀賞▶菅原葵梨

(秋大附属)

優秀賞▶長谷川心(秋

田西)

佳作▶内藤 結(将軍野)、畠

山結衣・山下花梨(秋田西)、三浦翔

太(山王)、伊藤幸太(外旭川)、佐藤

大輝(雄和)、半田唯清・小玉怜奈

(飯島)